



到达中心办公室交通手段

杭州萧山机场出发：大约50分钟（出租车）
 杭州火车站出发：大约20分钟（出租车）
 杭州火车东站出发：大约30分钟（出租车）

協業センター事務所までの交通アクセス

杭州空港から：タクシーで約50分
 杭州駅から：タクシーで約20分
 杭州東駅から：タクシーで約30分



浙江大学-富士电机合作中心

浙江大学-富士電機協業センター



浙江大学-富士电机合作中心
 浙江大学-富士電機協業センター

地址：浙江大学西溪校区西一教学楼405室
 連絡先：浙江大学西溪キャンパス西一教学楼405室
 电话/電話：0571-88981310

Zhejiang University-Fuji Electric Cooperation Center

持之以恒，打造跨国产学联合新模式

長期取組によって産学連携のボーダレス化を実現する

浙江大学和富士电机从2003年开始产学合作，针对新能源、电力系统控制等特定领域开展共同研究。

基于技术研究及市场分析的共同研究成果，双方于2006年共同设立了“浙江大学-富士电机系统研发中心”，将合作领域扩展至电气、能源、环境、IT等多个领域，将合作内容扩展至包括技术研究、产品研发、以及富士电机的技术、产品的本地化开发；在促进浙江大学学科间横向联合及科研成果产业化的同时，推动富士电机的技术、产品在中国市场的适用和推广。

为顺应中国经济与市场的高速发展，双方于2010年共同设立“浙江大学-富士电机创新中心”，直接面向市场将合作内容拓展至包含各种工程实证在内的一体化事业创新，实现了部分研发成果与市场的对接，为推进共同事业化合作打下了基础。

通过过去10年深入、具体的交流合作，双方建立了深厚的信赖关系，已培育出共同面向中国市场开创新事业以贡献社会的土壤。基于此，双方强强携手，不懈追求，进一步升级了合作平台，于2014年共同设立了“浙江大学-富士电机合作中心”，立足于双方的优势领域，加速推进从研究开发到事业创出的全方位多层次合作。

富士電機と浙江大学は2003年から産学連携協業を開始した。新エネや電力系統制御などの特定領域で共同研究を行った。技術研究、市場分析の実施結果を踏まえて、2006年に、双方が共同で「浙江大学-富士電機システム研究開発センター」を設置し、領域を電気、エネルギー、環境、IT等の多分野に広げ、技術研究、製品研究開発、富士電機技術・製品の現地化開発を含む協業内容を拡張した。浙江大学の各学術分野の横連携および研究成果の事業化を促進する同時に、富士電機の技術・製品における中国市場への適用と拡大を推進してきた。

中国経済・市場の高速発展の趨勢に合わせて、双方が2010年に「浙江大学-富士電機イノベーションセンター」を共同で設立し、直接市場に向けて各種エンジニアリング実証を含めた一体化事業イノベーション創出協業活動を展開した。一部研究開発成果の市場への接続を実現し、伴に事業化への協業の基礎を積み上げた。

10年間に渡って、深く具体的な交流・協業の取り組みによって、双方の深い信頼関係を築き、伴に中国市場に向けての新事業創出によって社会貢献していく土壌が醸成できた。その結果を踏まえて、双方の強みを生かし、更なる可能性を追求するため、新たな協業のステージとして、2014年「浙江大学-富士電機協業センター」を立ち上げ、双方の強い分野における研究開発から事業創出まで一貫した産学協業を推進することとなった。



取长补短，实现校企间多层次全方位合作

強み補完によって全方位多階層の産学協業を実現する

双方高层于东京会晤
双方トップは東京で交流

浙江大学、富士电机、北海道大学专家对话
浙江大学、富士電機、北海道大学の専門家対談

浙大专家访问日本产总研
浙大専門家が日本産総研を訪問

智能电网技术研讨
スマートグリッド技術検討

EPA驱动系统技术交流
EPA駆動システム技術交流

浙江大学学生访日交流
浙江大学学生訪日交流

JST“樱花计划”青年学者访日
JST校プラン若手研究者訪日

浙大教师在无锡富士为员工讲课
浙大先生が無錫富士電機で授業

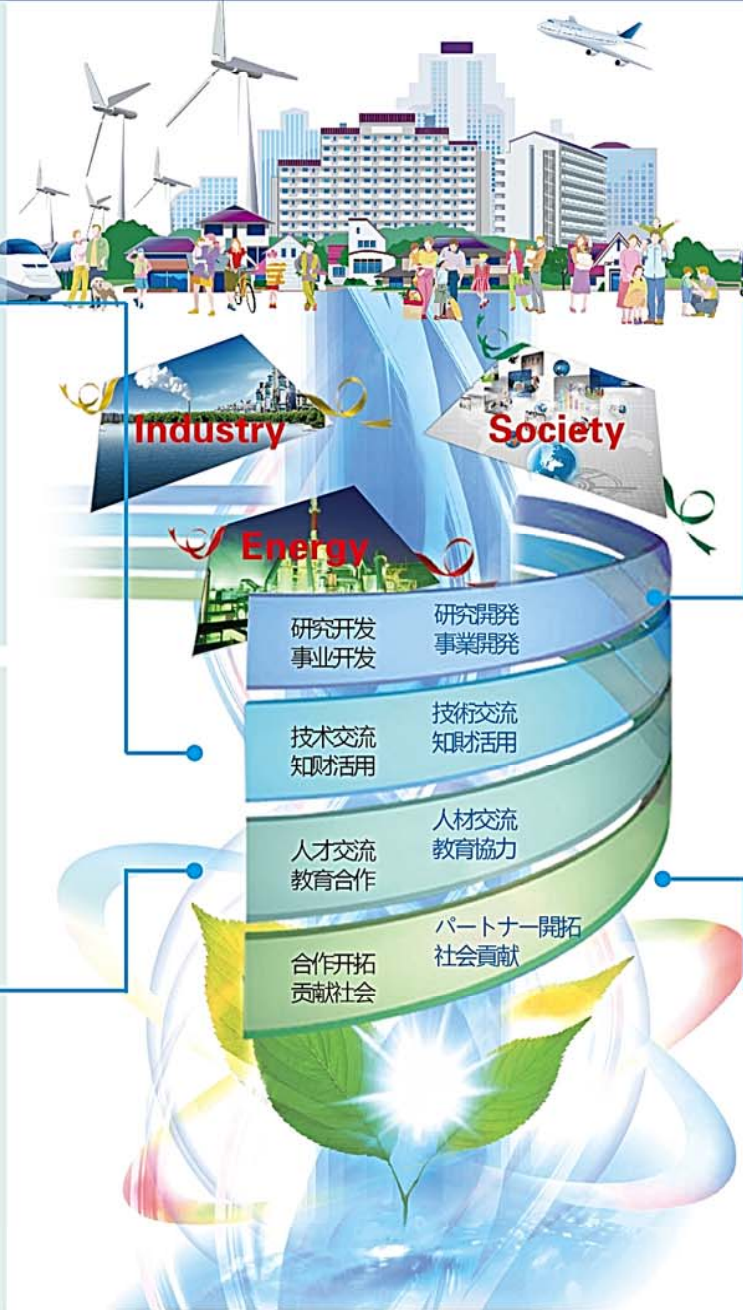
浙江大学“富士电机日”活动
浙江大学「富士電機デー」活動

通过高层交流，专家交流，技术交流，及与各领域的外界交流实现多层次广泛的信息共享。

トップ交流、専門化交流、技術交流、および各領域での外部との交流を通じて各レベルの幅広い情報共有を実現する。

通过举办面向师生的技术讲座、访日研修，面向企业员工的培训，及互派研究人员实现多层次人才教育合作。

学生へのセミナー、訪日研修、企業職員への教育、研究者の相互派遣を通じて多様な人材教育協力を実現する。



舟山微网实证现场
舟山マイクログリッド実証の現場

气体分析仪实验现场
ガス分析装置試験現場

EPA驱动系统实证现场
EPA駆動システム実証の現場

EV电池评价实验平台
EV電池評価実験システム

环境研究室试验平台
環境研究室試験システム

第七届中国节能环保综合论坛
第七回日中省エネ・環境総合フォーラム

共同参展Innovation JAPAN 2014
イノベーションJAPAN 2014を共同出展

紫金港 F-WAVE 光伏发电系统竣工仪式
浙大光伏发电系统竣工儀式
浙大PV発電システム完成式

中日环境·能源研讨会
日中環境・エネスギーフォーラム

节能店铺示范点
店舗省エネデモ

通过共同技术研发、产品开发、工程实证、事业构筑的多层次合作，实现一体化事业创新。

共同で技術研究、製品開発、現場実証、事業構築の多段階協業によって、一体化事業イノベーションの創出を実現する。

通过共同建设新能源、节能、环境样板工程，及举办、责任能源环境普及交流活动，为推动可循环社会的实现做贡献。

共同で新エネ、省エネ、環境モデル事業の実施、および関連宣伝・交流イベント主催・協賛を通じて循環社会の実現に貢献する。



智能电网实验平台
スマートグリッド実験プラットフォーム



舟山海岛微网实证平台
舟山離島マイクログリッド実証



自动售货机及运行实证
自販機及び運行実証



店铺节能实证
店舗省エネ実証



EV评价实验平台
EV評価実験プラットフォーム



传化集团污水处理实证
伝化集团廃水処理実証



HVDC样机
HVDC試作機



五电平变換器样机
5レベル変換器試作機



EPA驱动系统
EPA駆動システム



厨余垃圾分选装置样机
台所ゴミ選別装置試作機

浙江大学介绍/浙江大学紹介



浙江大学的前身求是书院创立于1897年，为中国人自己最早创办的新式高等学校之一。1928年，定名国立浙江大学。抗战期间，浙大举校西迁，在贵州遵义、湄潭等地办学七年，1946年秋回迁杭州。1952年全国高等学校院系调整时，浙江大学部分系科转入兄弟高校和中国科学院，留在杭州的主体部分被分为多所单科性院校，后分别发展为原浙江大学、杭州大学、浙江农业大学和浙江医科大学。1998年，同根同源的四校实现合并，组建了新浙江大学，迈上了创建世界一流大学的新征程。

截止2014年12月底，浙江大学现有全日制在校学生46364人，其中：硕士研究生13952人，博士研究生8779人，本科生

23633人。在校留学生（含非学历留学生）5746人。有专任教师3437人，其中教授及其他正高职人员1474人，教师中有中国科学院院士12人、中国工程院院士16人。学校拥有紫金港、玉泉、西溪、华家池、之江及舟山共6个校区，总占地面积4743741平方米，另有在建校区浙大海宁国际校区，占地面积800000平方米。图书馆藏书671万余册，并有7家附属医院。



浙江大学的前身「求是学院」は、1897年に設立され、中国で最も古い近代高等教育を行う大学の一つであった。1928年、国立浙江大学と命名され、戦時中の1940年代、遵義や湄潭などの西部に7年間移転し、1946年に杭州に戻ったという歴史を持つ。1952年、中国の大学再編により、一部の学術領域が別の大学や中国科学院に編入され、残った領域は4つの専門高等教育機関に分割され、前身の浙江大学、杭州大学、浙江農学大学、浙江医科大学として発展してきた。1998年には、同じ祖先から誕生した4大学は統合し新たな浙江大学として、世界トップクラスの大学への再出発となった。

2014年12月時点、修士課程13952名、博士課程8779名の大学院生、23633名の学部大学生を含め、46364名のフルタイム学生が在籍し、また、現在、5746名の留学生在が在学している。教員についても現在、3437名のうち、教授1474名、中国科学院院士12名、中国工程院院士16名が在職している。浙江大学は紫金港、玉泉、西溪、華家池、之江、舟山6つのキャンパスを持ち、総土地面積4743741平方メートルを保有し、なお新築している海寧国際キャンパスは総土地面積800000平方メートルも保有し、大学図書館の蔵書は671万冊を超え、7つのハイレベル大学病院を運営している。



浙江大学产学研介绍/浙江大学産学連携紹介



浙江大学围绕国内外的重大共性关键技术及先进集成技术需求，致力于创新发展产学研合作机制与模式，集聚国内外创新资源，建设符合综合性研究型创新型大学特点的工业技术创新服务体系，并于2009年4月成立浙江大学工业技术研究院，进一步加快国内外工业科技成果的集成化、产业化和国际化步伐。目前，在国内已完成8个区域产学研创新平台，72家技术转移服务分支机构，涵盖新能源、生物产业、高端装备制造、新材料、物联网及节能环保6个领域的战略性新兴产业平台的战略布局，形成了北至黑龙江，南到云南，西至四川，东到福建、广州的产学研服务辐射范围。国际上，已与上百家世界

500强企业形成紧密的战略合作。与日本富士电机株式会社能在能源、环境、交通、电力电子技术、食品流通等领域的长期有效的产学研合作，是浙江大学与世界知名企业开展国际科技友好合作的成功案例，是浙江大学推进国际产学研合作的重要战略举措之一。



浙江大学は国内外的重大な共通性の肝心な技術と先進的な集積化技術のニーズをめぐって、産学連携の構造とモデルの革新発展に専念して、国内外の創新資源を集まって、総合性・研究型・创新型大学の特徴に合わせる工業技術創新サービス体系を建設する。そして、2009年4月に浙江大学工業技術研究院を創立し、更に国内外の工業科学技術成果の集積化、産業化と国際化を加速する。現在、国内ですでに8つの区域産学連携創新プラットフォーム、72社の技術転移サービス機構、新エネルギー、生物産業、ハイエンド製造新素材、モノのインターネットと省エネの環境保護の6つの領域を含む戦略的な新興産業のプラットフォームの区域配置を完成した。北は黒龍江まで、南は雲南まで、西は四川まで、東は福建、広州までの産学連携サービス範囲を形成した。国際について、すでに百社以上の世界トップ500の企業と緊密な戦略協力になった。

日本の富士電機株式会社とエネルギー、環境、交通、パワエレ技術、食品流通などの領域での長期・有効な産学連携協業活動は、浙江大学の世界有名な企業と国際科学技術の友好協力の成功の例である、浙江大学の国際産学連携協業推進の重要な戦略活動の一つである。

